

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ国（ドミニカ）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

（2024年2月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

2月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ国（ドミニカ）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1 概況

- （セントキッツ）2025年までに域外食糧輸入額を25%削減するため（25 by 25 target）、農業省は家畜輸入の67%削減を目標に掲げた。また、セントキッツ海洋資源局は2024年に陸上養殖を拡大する予定であると発表。
- （セントビンセント）台湾政府は、女子教育支援を目的に、セントビンセント総督の慈善団体「スーザン・ドゥーガン財団」に56,000東カリブドル（約20,585米ドル）を寄付。
- （セントビンセント）台湾政府は、セントビンセントにおける野菜の改良、ポストハーベスト処理及び家畜飼育の3つの農業プロジェクトに出資。
- （セントルシア）ヒポリット商務・製造・ビジネス開発・協同組合・消費者問題担当大臣は、新たな貿易機会の開拓及びセントルシアの製造部門への支援強化を目的に、台湾を訪問。
- （ドミニカ）中国政府は、ドミニカの農業部門のさらなる強化を目的に、75万東カリブドル（約27.57万米ドル）相当の農業設備を寄贈。
- （グレナダ）グレナダの独立記念日式典に合わせアクフォ＝アド・ガーナ大統領が同国を訪問し、両国は文化・貿易・教育分野での協力に関する覚書に調印した他、両国間の査証免除協定を締結。
- （グレナダ）英政府は、グレナダ南部地域における安全な飲料水の確保と水資源管理の改善を目的とする水道システム改善工事の実施に向け、2,070万米ドルを拠出。
- （アンティグア）電気自動車（EV）の輸入にかかる関税及び環境税を100%免除する政策が閣議決定された。

●（グレナダ）ミッチェル首相は、10月に行われる英連邦の次期事務総長の選挙におけるボチュウェイ・ガーナ外相への支持を表明。

2 内政

●（8日グレナダ報道）グレナダは独立50周年を迎え、祝賀イベントが開催された。

3 経済

●（1日セントキッツ報道、2日セントキッツ政府発表）2025年までに域外食糧輸入額を25%削減するため（25 by 25 target）、農業省は家畜輸入の67%削減を目標に掲げた。また、セントキッツ海洋資源局は2024年に陸上養殖を拡大する予定であると発表。

●（8日セントビンセント報道）台湾政府は、女子教育支援を目的に、セントビンセント総督の慈善団体「スーザン・ドゥーガン財団」に56,000東カリブドル（約20,585米ドル）寄付した。

●（8日カリブ開発銀行発表、12日セントルシア報道）カリブ開発銀行（CDB）と米州開発銀行（IDB）は、セントルシアの公共医療システム能力向上を目的とする522万米ドルの共同プロジェクトを開始。

●（9日ドミニカ報道）中国政府は、ドミニカの農業部門のさらなる強化を目的に、水耕栽培システムや温室・点滴灌漑システムのメンテナンス機材、種子、苗トレイ、トラクター等含む75万東カリブドル（約27.57万米ドル）相当の農業設備を寄贈。

●（12日アンティグア報道）島嶼国を対象に、国際協力機構（JICA）による非感染性疾患対策に関する研修が日本で実施され、アンティグア代表の保健専門家が受講。

●（14日セントキッツ報道）環境局は地球環境ファシリティ（GEF）出資の「廃水管理のためのカリブ地域基金（CReW+）プロジェクト」を発足。同プロジェクトの実施機関はドイツ国際協力銀行（GIZ）、米州機構（OAS）及びカルタヘナ議定書事務局（CAR/RCU）。

●（14日セントビンセント報道）台湾政府は、セントビンセントにおける野菜の改良、ポストハーベスト処理及び家畜飼育の3つの農業プロジェクトに出資。

●（14日セントビンセント報道）台湾のシンプリーヘルプ財団は、他の台湾NPOと共に、セントビンセントに生活必需品や家具、衣類、スポーツ用品などの物資を寄贈。

●（15日グレナダ報道）グレナダの独立記念日式典に合わせアクフォ＝アド・ガーナ大統領が同国を訪問し、両国は文化・貿易・教育分野での協力に関する覚

書に調印した他、両国間の査証免除協定を締結。

- （１６日ドミニカ報道）チャールズ・ドミニカ農業産業開発銀行（ＡＩＤ銀行）代表取締役は、２０２３年６月３０日に終了した会計年度において、同銀行は１２０万東カリブドル（約４４万米ドル）の利益を計上したと発表。
- （１９日セントキッツ報道）ワートン観光省事務次官は、２０２３年にセントキッツを訪問した観光客数は約１３．３万人であり、コロナ以前の数値に順調に戻りつつあると発表。
- （２１日アンティグア報道）ＥＵが租税に非協力的な国リストを改訂し、アンティグアは引き続き「租税ブラックリスト」に認定された。
- （２２日アンティグア報道）電気自動車（ＥＶ）の輸入にかかる関税及び環境税を１００％免除する政策が閣議決定された。
- （２２日グレナダ報道）英政府は、ＣＤＢが運営する英カリブ・インフラ基金（ＵＫＣＩＦ）を通じ、グレナダ南部地域における安全な飲料水の確保と水資源管理の改善を目的とする水道システム改善工事の実施に向け、２，０７０万米ドル拠出。
- （２３日アンティグア報道）ニュージーランド政府は、５月にアンティグアで開催予定のＳＩＤＳ会合への資金援助を発表。
- （２３日グレナダ報道）欧州投資銀行とＣＤＢは、グレナダの保健セクター強化プロジェクト実施に向け３，０００万東カリブドル（約１，１００万米ドル）を拠出。
- （２７日アンティグア報道）英コンサルティング会社「ヘンリー＆パートナーズ」の世界市民権プログラム指数（ＧＣＰＩ）にて、アンティグアの投資による市民権取得プログラムはグレナダとセントルシアと並び第３位にランク付けされた。

４ 外交

- （６日グレナダ報道）ミッチェル首相は、１０月に行われる英連邦の次期事務総長の選挙におけるボチュウェイ・ガーナ外相への支持を表明。
- （８日ドミニカ報道）ドミニカとパキスタンが外交関係を樹立。
- （２８日セントルシア報道）ヒポリット商務・製造・ビジネス開発・協同組合・消費者問題担当大臣は、新たな貿易機会の開拓及びセントルシアの製造部門への支援強化を目的に、台湾を訪問。
- （２９日アンティグア報道）ブラウン首相は、ガイアナで開催された第４６回カリコム首脳会合の傍らアル・ジュベイル・サウジアラビア外相と会談し、両国は貿易と投資を通じた外交関係の強化に関して合意。